

HIDE'S NEWS

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース

2015年 9月号

大きな 未来の カタチづくり

ひでかず
わたなべ 秀一
HIDEKAZU WATANABE

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース2015年9月号 2015年9月1日発行 発行/わたなべ秀一 後援会 企画デザイン/面白商事さねよし

HIDE'S VOICE



国道294号線を渡る、八坂神社本神輿

今年の八坂神社のお祭りは
無事に終わりました。
天気も良く、絶好のお祭り日和でした。

私の住む土塔町内会でも、
神輿の接待や青年会の山車、子ども会と
それぞれの分野で皆さんが汗をかきました。

わたなべ秀一は、八坂神社の祇園祭を守谷市初の無形民俗文化財に
指定する取り組みを応援しております。

6月定例会

わたなべ秀一の一般質問

◎民間企業の撤退が及ぼす影響について

- ・北守谷の大型食品スーパー撤退による市の今後の対応
- ・アワーズもりやのテナント契約と収支について
 - ◇ 現状
 - ◇ 今後の方針

◎大学進学における 教育費の負担軽減について

- ・学生の奨学金
- ・教育ローン利子補給
- ・市独自の給付型奨学金

◎国道294号高架橋下土塔信号を渡る 歩行者の安全確保について

◎震度計の設置場所について

ひでかず わたなべ秀一 プロフィール

有限会社 渡辺商店代表取締役
生年月日:昭和47年1月8日
守谷市立 守谷中学校 卒業
茨城県立 守谷高等学校 卒業
千葉商科大学 経営学科 卒業
明治大学公共政策大学院 在学

平成21
~22年 守谷市商工会青年部 部長
がぶりメンチのプロデュース

平成23年 (社)常総青年会議所理事長

平成24年 守谷市議会議員 初当選

平成24年 守谷市消防団第2分団長

現在 文教福祉常任委員会 委員
広報特別委員会 委員
地方創生特別委員会 副委員長

わたなべ秀一 後援会

〒302-0109 守谷市本町260

TEL 090-3234-2809 FAX 0297-48-1487

nabesta1211@yahoo.co.jp

わたなべ秀一

HIDE'S CAFE

地域を良くするアイデアについて、
お茶を飲みながら楽しくお話しませんか?

開催場所	9/5(土)
わたなべ秀一	13:00~14:30
後援会事務所	10/3(土)
(ココス守谷店の向かい)	13:00~14:30

HIDE'S NEWS

強みと弱み
守谷を分析

国の『まち・ひと・しごと創生法』事業により、各地方自治体は『人口

ビジョン』及び『総合戦略』の策定が努力義務とされました。

現在、守谷市においては、人口ビジョンの策定作業を大方終えたところですが、その中で見えてきた守谷の現状と課題について紹介いたします。

HIDE'S NEWS

子どもの発熱に対応
体調不良児対応型保育

働くお母さんにとって最も困ることの1つは、幼稚園や保育園からの急なお迎えの連絡ではないでしょうか。特に守谷市の場合は、子育て世帯の多くが核家族のため、仕事を早退して迎えに行くというお話をよく伺います。

例えば、近隣の龍ヶ崎市では、保育中に発熱するなど、緊急的な対応を必要とする児童を一時的に預かる『体調不良児対応型保育』を実施しています。平成26年度には、延べ利用児童数が3187人であったことから必要の高さが伺えます。

守谷市の場合、龍ヶ崎市のような児童の一時預かり保育には対応できないのが現状です。子育て支援の充

守谷の現状と課題	
強み	今後も少なくとも短期的には人口増加が継続
	人口増加を支えてきた継続的な住宅供給
	『住みよさランキング』に代表される良好な生活環境
弱み	つくばエクスプレス開通による交通の利便性向上
	10代後半～20代の年齢層が相対的に低い。これは進学・就職時期の市外転出が影響
	近い将来、一部の地区で超高齢化や人口減少に直面する懸念
機会 <small>(積極的に活かすべき環境)</small>	出生数が減少トレンドにあり、中期的に死亡数が出生数を上回る自然減に転じる可能性がある
	市民が理想とする子ども人数(2.39人)
	私立小学校の開設等による、多様な初等教育環境の整備の進展
脅威	移住や複数の生活拠点に代表される、新しい暮らし方の関心の高まり
	大規模・集中的な新規住宅供給が見込めない
	つくばエクスプレス沿線自治体間での競争激化

実は守谷市の喫緊の課題であることから、この『体調不良児対応型保育』導入に向けて、今後、検討を重ねていく必要があると考えます。

「アワーズもりやに行政施設を」という要望も出てくるのでは？

HIDE'S NEWS

守谷駅東口周辺の
ビジョン

『守谷駅東口市有地の活用のあり方』について、守谷市総合計画審議会から答申書が提出されました。それらを踏まえ、2015年6月定例会において、守谷駅東口周辺の今後の運営方針について提言いたします。その内容を一部紹介いたします。

渡辺 答申書では、守谷駅東口1.2ヘクタールの市有地の活用は、1番目にオープンスペースであった。仮に公園などに活用された場合、守谷駅東口に行政施設が無くなることから

都市整備部次長 アワーズもりやの空き状況にもよるが、今後の基本構想策定状況により、行政施設の開設を検討したい。

渡辺 行政施設の場合、テナント収入が見込めず、収支が合わないのでは？

都市整備部次長 当然、収入が見込まれない行政施設が入居した場合、アワーズもりやの収支は崩れる。

渡辺 今後の市の財政のためにも、三菱UFJリソースとの20年間の事業用定期借地契約を解除し、守谷市がアワーズもりやを一括で買い上げるべきでは？

都市整備部次長 期間内に契約解除した場合、残存期間賃料相当額を上回る金額で買い取る契約なので、現時点で一括買い上げの考えはない。

HIDE'S EYE

今後、守谷駅東口1.2ヘクタールの市有地活用について、守谷市は基本的な構想の策定に入ります。

この市有地は、守谷駅東口周辺一体の中心地であることから有効活用が望まれます。行政施設やオープンスペースとしてどのようなサービスが必要なのか、また、アワーズもりやを含む守谷駅東口周辺一体の賑わいをどのように創出するのも踏まえ、慎重に議論を重ねていく必要があります。

例えば、低予算で整備可能な都市型広場のようなオープンスペースとして暫定活用しながら、結論を焦らず様子を見るのも一つの進め方だとわたなべ秀一は考えます。

守谷駅東口周辺一体が守谷の新しい顔になれるよう、引き続き、その動向を注視してまいります。